

食堂改善と出張講座に優秀賞

学生企画 コンテスト 両企画に予算200万円

東大は、活力あるキャンパスの創出に生かせる発想に贈る08年度学生企画コンテストの優秀賞を発表した。「東大生キッチンプロジェクト」チーム(代表Ⅱ大久保智夫さん、経・3年)の「本郷キャンパス食環境改善プロジェクト」と、音野瑛俊さん(理学系・修士2年)の「地方高校でも東大がぐっと身近に! 大学院生母校出張セミナー」の2件が選ばれた。1件につき最大200万円の予算が本部から与えられる。10日に情報学環・福武ホールで表彰式が行われた。

同コンテストは今回が2回目。応募できるのは東大生と東大生を中心とする団体。16件の応募があり、教職員からなる審査委員会(委員長Ⅱ池田信雄総合文化研究科教授)が選んだ。「東大生キッチン」は、本郷キャンパス生協食堂の改善のため、サービス価格引き下げ、宗教による食事制限に対応した留学生向け商品の開発、駒場Iキャンパス・コミュニケーションプラザのような開放的な空間への改築などを提案。国際化と、教職員と学生の交流を促す点が評価された。

音野さんは理学系研究科院生の科学コミュニケーション団体「ottoi(ゼロ・トゥー・ワン)」で、出身高校への院生出張セミナーを08年1月から展開。本部からの予算で、参加院生の増員や東大から遠い高校でのセミナー開催などを実施すると提案した。高校生が最新の学問を知る橋渡しになると評価された。

表彰式では、07年度の優秀賞に選ばれた3件の現状を各応募者・代表者が報告した。一部の受賞者は、教職員・学生間のパイプ強化を求めた。課題だった長期的な大学の支援が改めて浮き彫りになった形だ。

同コンテストは、創立130周年記念事業の一つだった前回は継続したもの。応募は07年度の50件から3分の1以下に減り、07年度に各1件が選ばれた優秀賞以外の3賞は該当がなかった。授賞式に出席した浅島誠理事・副学長は「応募件数の減少は募集開始の遅れが原因だろう。来年も実施する」と明言した。



表彰式を終え、記念撮影に臨む受賞者らⅡ10日、情報学環・福武ホール